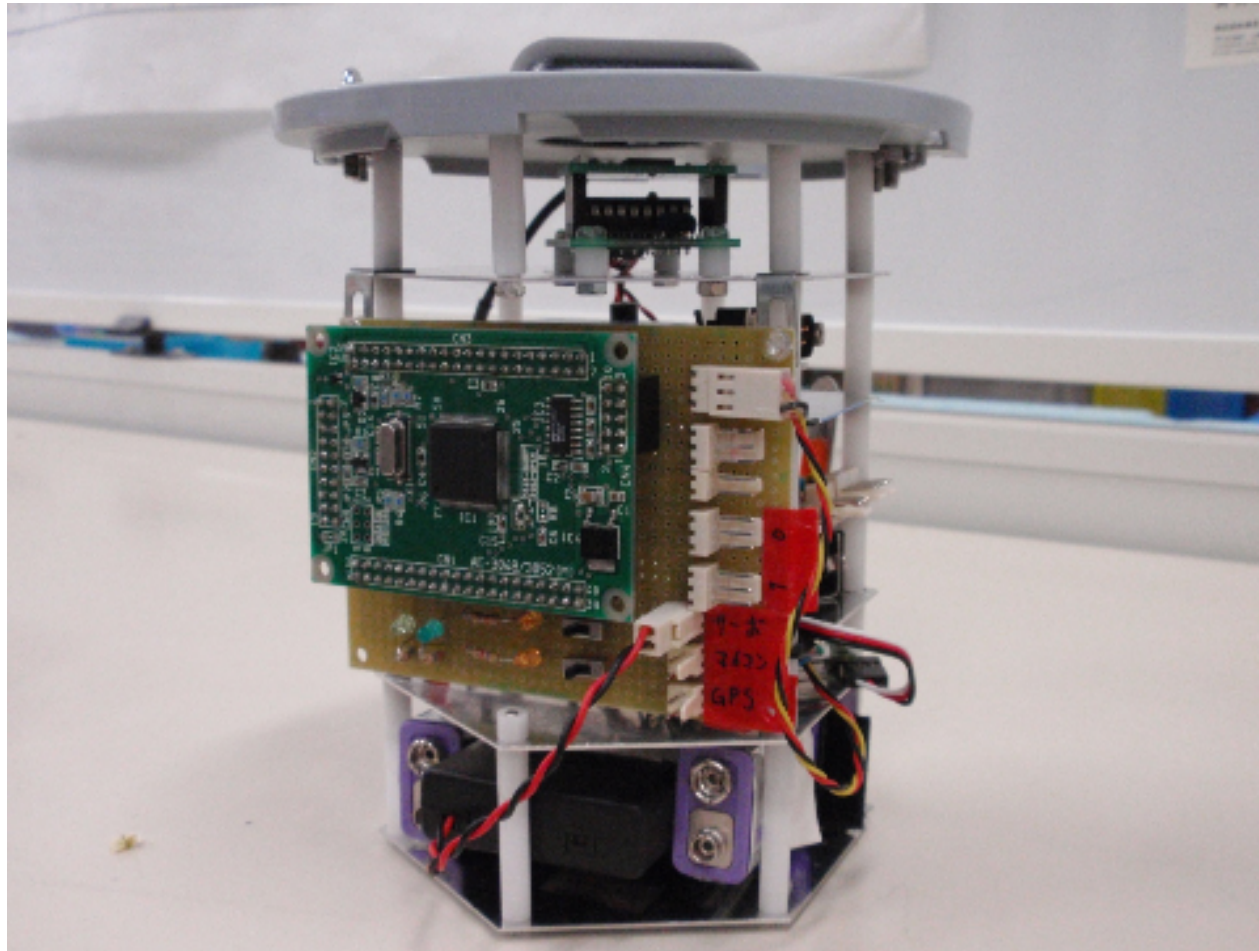


工学院大学CanSatプロジェクト

Aチームリーダー:学部3年 高橋 敬

機体名 : Espacio cuatro



- 目標

→ 前回の機体の問題点を改善し成績を残せる機体の作成

- Espacio cuatroの4つの特徴

→ 1. パラfoilが確実に展開する工夫

→ 2. 軽量かつ動作時間の長い電池

→ 3. データ取得の強化

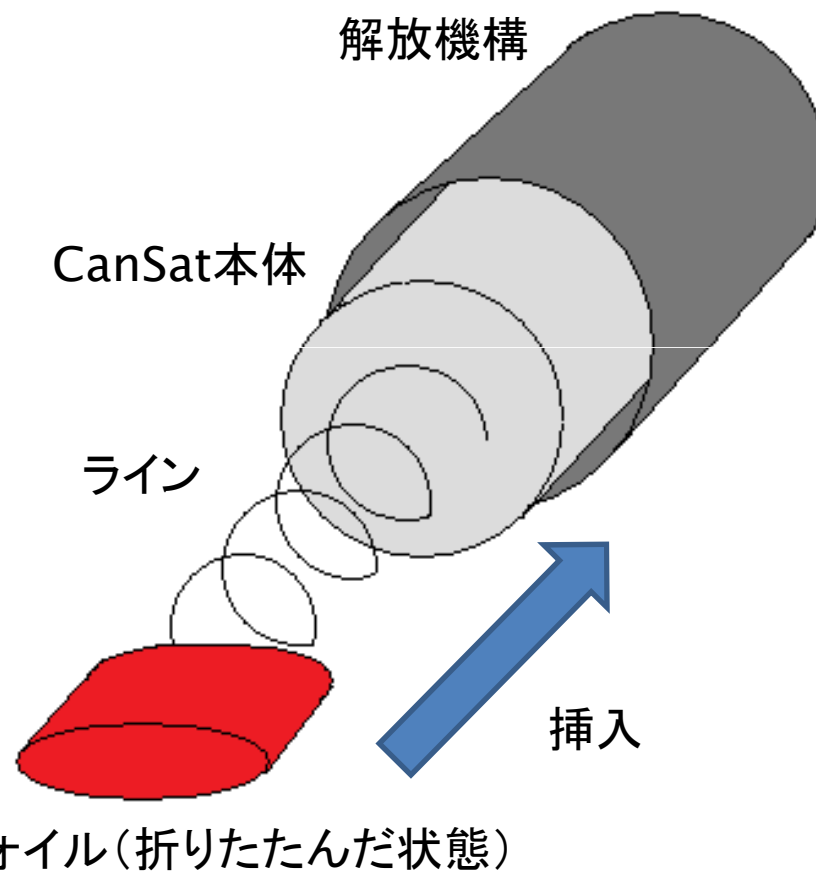
→ 4. メンテナンスのしやすい構造

パラfoilが絡まない工夫

ラインをらせん状に巻きながら
解放機構にしまう。



2回のフライト両方で正常に展
開した。



軽量かつ動作時間の長い電池



Ni-MH電池



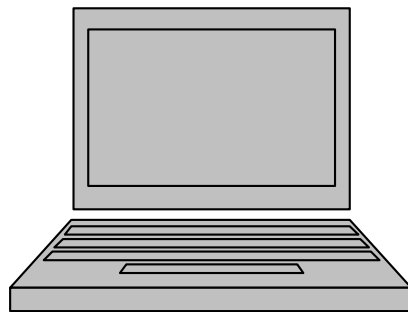
リチウムイオン電池

→総重量100gで動作時間が約1時間

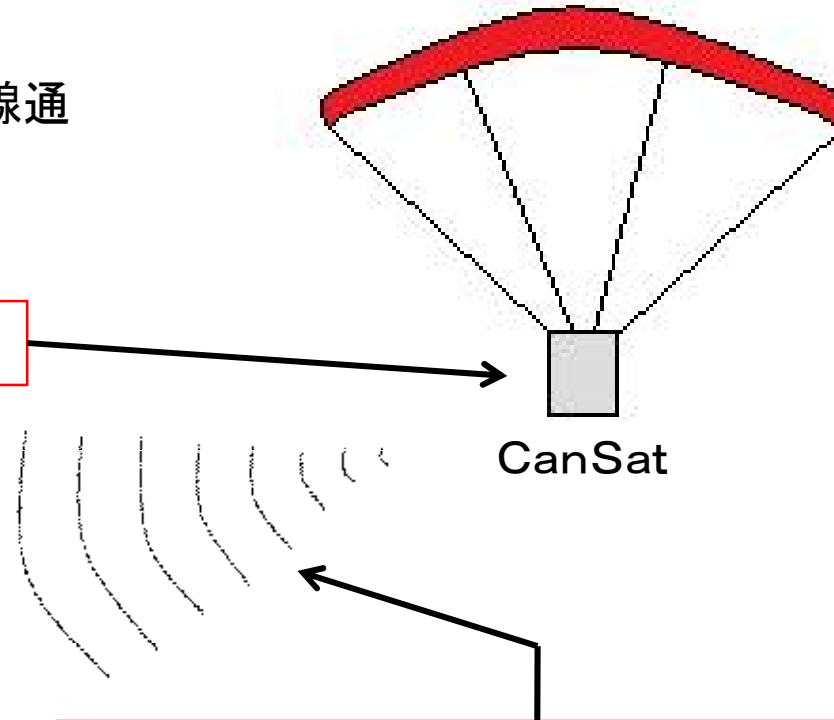
データ取得の強化

データを確実に取得するために無線通信の導入。

経路①: ROMへのデータ保存

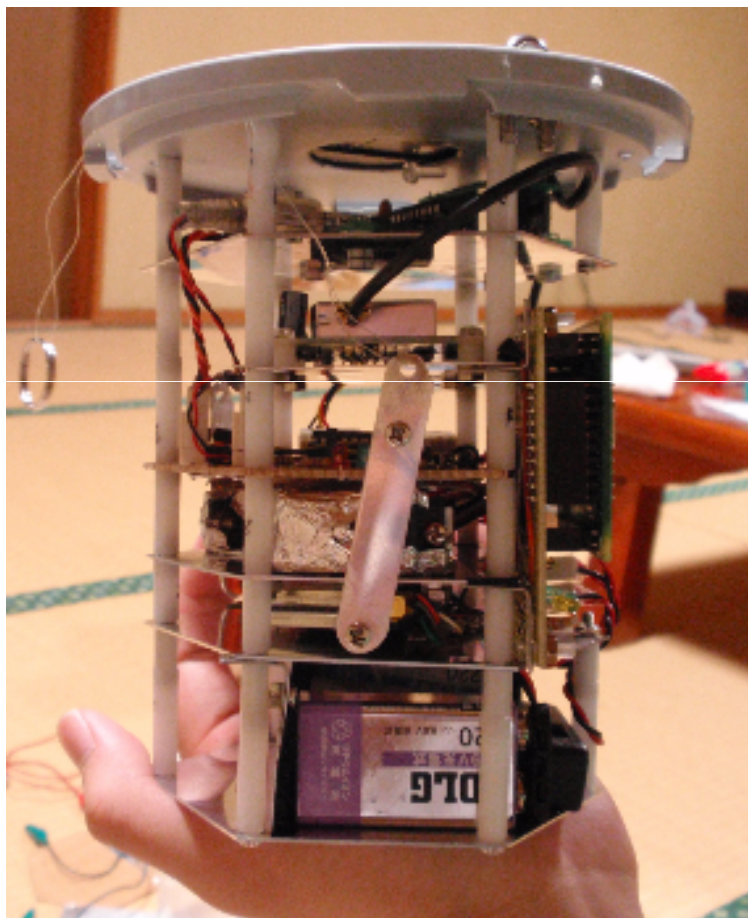


地上局



経路②: 無線によるデータの取得

メンテナンスのしやすい構造



支柱にはスペーサーを使用し、分解や組み立てをやすくしている。

また、機体の外装にはCDのケースを使用し、機体内部に水が入らないようになっている。

フライト結果

- 回路の不具合により履歴を残すことができなかった。
- 機体は破損することなく無事回収
- パラfoilは完全に展開することができた。

ご静聴ありがとうございました。